

人間福祉研究第 20 号発刊にあたって

木村 敦子

KIMURA Atsuko

広島文教女子大学に人間福祉学科が開設されて 22 年が経ち、2022 年 4 月には第 23 期の新生を迎えることとなります。現場の指導者として卒業生と邂逅することも増え、本学が地域にしっかり根をおろしたのだと実感し、改めてその歴史に思いを馳せる機会が増えました。

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大が世界中に影響を及ぼしました。大学の授業も、対面で全て開講することは難しく、昨年度に引き続きオンラインでの開講となる時期がありました。社会人として活躍されている卒業生の皆様にとっては、在宅勤務や行動制限、三密回避等の自粛生活を余儀なくされ、特に医療や福祉現場で勤務されている皆様にとっては、今年度も毎日が感染症の不安と隣り合わせの日々であったのではないのでしょうか。

昨年度開催を見合わせた人間福祉学会はオンラインで開催をしました。来年度も、状況を見ながらではありますが、人間福祉学会の開催を検討しております。またしばらくお休みしております島根ブロック大会の開催を検討したいと思っております。

人間福祉学会は、学びの場であると共に、「文教だからこそ」の援助観やつながりを確認し、形にする場です。私たち自身も皆さんに負けないよう、これからもさらに多くの学びやつながりを提供していくことができたらと考えています。

ご存じの通り、本学は共学となり、「広島文教大学」と改名しました。今年度は、69 名の新生を迎えましたが、そのうち 9 名が男

子学生です。福祉業界の人材不足が続く中、昨年度に続き、定員を超える新生を迎えることができ、身の引き締まる思いです。

社会福祉士・精神保健福祉士の養成カリキュラムが今年度より改正されました。地域共生社会の実現に向け、複合化・複雑化した課題を受け止める多様な機関の協働による体制作りにより、社会福祉士の役割が期待される中での改正です。実践力のさらなる向上に資するため、社会福祉士養成に求められる実習時間がこれまでの 180 時間から 60 時間増え、240 時間となることが決まっています。本学では、実習時間を 90 時間増やし、合計 270 時間の実習を 2 年間にわたって実施する予定です。卒業生に実習指導をお願いする機会が増えるかと存じます。今後も、本学卒業生として、福祉業界の維持・発展に向けてお力添え下さい。

共学化に伴い新校舎が建設され、新しいキャンパスにも、徐々に馴染んできました。ぜひ一度直接本学を訪れ、在学生に向けて多くの学びを授けていただく機会を持っていただければ幸いです。皆様におかれましては、今後ともご支援賜りますようよろしくお願いいたします。